

ニュース

第225号

発行日 令和5年3月27日
発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資
〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20
電話 0299 (69) 2222
FAX 0299 (69) 2237
ホームページ <https://nakadaiikushinen.jp/>

今月の生活目標

【単元】

- 火災予防
- 一年の反省

【目標】

- ☆避難訓練に参加し、状況に応じて敏速に行動できるようになりましょう。
- ☆一年間を振り返り、自分の役割の仕事が遂行できたかどうかを反省し、新しい年度の心構えを持ちましょう。

「看護の仕事」

看護師 内田郁江

看護師には、健康増進・疾病予防・健康回復・苦痛緩和の四つの役割があります。

看護の基本は「観察」とされています。患者が何を感じているか、表面に現われる変化を読み取ることで、身体面と精神面を含めた観察が大切とされます。そこから変化を察知して正確に判断する能力が必要になります。健全な環境を整え、日常生活が支障なく送ることができるよう配慮することも、看護の重要な役割です。

施設の看護では、利用者さんの健康を管理し、健康の増進と疾病の予防に努めています。利用者さんとの関わりを持つ中で意思の疎通を図ることが難しい場面もあります。そのような時は、利用者さんの表情や行動等を観察して予想していきます。コミュニケーションを通して体調の変化に気付ける事も多くあります。日々のバイタルチェックだけではなく、いつもと違う表情や行動等が体調不良のサインとなることもあるため、日常生活の些細なことも見逃さず観察していくことが大切だと思います。また、身体面の看護だけではなく



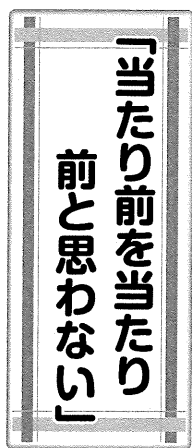
とってもおいしかったです (梵天会食)

く、精神面の看護にも留意し、利用者さんの心の健康にも配慮が必要となります。利用者さんの精神状態の変化などに素早く気付いて対応できるように、利用者さんとの関わりを大切にしていきたいです。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできました。当施設の感染症対策委員会の責任者として、職員への感染症対策の研修の実施、感染症発症時の対応や感染症対策時の物品の管理、その他様々な対策を行ってきました。入所施設は集団生活の場であるため、一人が感染してしまうと容易に感染拡大に至ります。昨年10月には当施設でも新型コロナウイルス感染症が発症し、

クラスターに発展しました。直接処遇では生活支援員が中心になり発症者の看護に当たりました。後方支援では、事務員、調理員など、施設全体が一丸となって一日も早い終息に向けて取り組み、重症者や後遺症発症者もなく乗り越えることができました。これまでの研修や物品準備などの対策が活かされることとなりましたが、同時に多くの反省点も見つかりました。今後はこれらの反省点を踏まえ、対策を講じていきます。また、新型コロナウイルス感染症だけではなく、インフルエンザやその他の感染症が発症することなく、健康な生活を提供できるよう尽力してまいります。

今後も、より良い看護ができるよう努めていきたいと思っています。



生活支援員 草野怜奈

私事の話になってしまっていますが、昨年の6月に愛犬が天国に旅立ちました。享年15歳。人間の年齢で例えるとおよそ80歳のおばあちゃん犬でした。お別れは突然で、大好きなお散歩で事故に遭い亡くなりました。知らせを受けたのは外出先で、母からの電話で知らされました。聞いた

時は、言葉も出さず、涙も出さず、ただただ現実を受け止めることができな
せんでした。「明日会いに行くね」
と言いつつ電話を切りました。

その晩、布団に入ると、沢山の時
間を一緒に過ごしてきた思い出が蘇
ってきました。愛犬はどこか人間味
があつて、家族が「本当に犬なのか
な？」と思うくらい賢く、人間の言
葉もきちんと分かっているようにし
た。家に迎えたのは私が中学校1年
生の時で、父の会社で飼っていた犬
が子犬を5匹産み、彼女はその中の
1匹でした。中々小屋から出てこれ
ず、1匹だけいつも端っこで震えて
いるとても臆病な子でした。大きく
なつてからも、風、雨、雷の音が少
し聞こえるだけでもブルブル震えて
腰を落として歩けなくなるくらいで
した。学生の時は毎日玄関から私の
姿が見えなくなるまで見送つてく
れ、家に帰るとしつぽが取れそうな
位振つてお出迎えしてくれました。
時間がある時は、庭で大好きなボー
ルで遊んで、夏には水遊びもしまし
た。就職し、私は一人暮らしを始め、
実家に帰る事が減りましたが、離れ
ていても愛犬は私にとつて「いつで
も居る存在」で、寂しいと感じたこ
とはありませんでした。

しかし、ここ2年程、愛犬は老化
で足や腰を痛め病院に通うことが増
えました。そのようになって大好
きな散歩は欠かさず、父と毎日歩

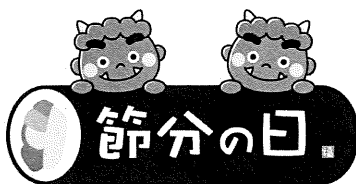
いていました。亡くなる日は、前日
に両親が外かけてお留守番だつ
たので、お散歩に行くのがとても楽
しみだったそうで、しつぽを振つて
出かけたそうです。ですが、その散
歩から元気に帰ってくることはあり
ませんでした。

亡くなった翌日、会いに行くと、
横たわる姿はいつもの愛犬ではあり
ませんでした。私は沢山の後悔で胸
がいつぱいで泣き崩れました。「も
つと触つてあげればよかった」「も
つと帰つて遊んであげればよかつ
た」と後悔してもしきれません。愛
犬が「いつでも居る存在、帰つたら
居るのは当たり前」という考えは間
違つていたのだと痛感しました。そ
の悲しみの中で一つだけ気付けた事
があります。それは「当たり前を当
たり前と思わない」という事です。
愛犬だけではではなく、今の環境で
生活できること、家族や友人と過ご
せること、好きな物を食べることに
な、日常で起きること全てに對して
も、当たり前を当たり前と思わずに
「日々感謝する」ことを胸にこれか
らは過ごしていききたいと強く思い
ました。

大好きな愛犬との別れを思い出す
と今でも寂しさが溢れますが、沢山
の思い出を忘れず、感謝を忘れずに
生きていきたいと思えます。

給食だより

栄養士 田村 美紗希



2月3日 (金)
昼食

- 恵方巻
- いわしと野菜の天ぷら
- 節分汁



2月3日は節分の日。
厨房からは節分献立を提供しま
した！
恵方巻は一人一本ずつの提供で、
少し多いかな？とも思いました
が、皆さんペロッと完食されて
いました。



グループだより

★ひまわりグループ

『元気の秘訣』

当施設最高齢男性の小野木さんは、今年87歳を迎えます。正義感が強く、曲がったことが大嫌い。一方で冗談が大好きなおちゃめな一面もあり、皆に元気を分けてくれる存在です。小野木さんは身体を動かすことが大好きで、朝の歩行訓練も率先して歩き、気候の良い日の活動時間には自ら畑の除草に参加されています（もちろん、年齢に合わせて無理のない範囲での参加をお願いします）。食事も毎食完食しています。そんな小野木さんに元気の秘訣を



いざ！真剣勝負!! (大野かるた大会)

聞いてみました。すると、「良く寝て、良く食べる事」と言って笑って答えてくれました。私も元気に長生きできるように、小野木さんを見習っていきたいと思いました。(内田)

★すみれグループ

『ありがとうございました』

昨年のクリスマススイブの朝、辻さんは急にお腹を押さえて体調不良を訴えました。とても寒く、風が強く吹いていた日でした。すぐに病院に向かうと、そのまま入院となりました。「早く元気になって戻ってきてくださいね。」と声をかけた時の不安そうな表情は今でも忘れられません。年が明けた1月18日、病院から辻さんが静かに息を引き取ったとの連絡が入りました。享年81歳。

責任感が強く、しっかり者の辻さん。時には厳しく、時には優しく、グループの皆さんを見守ってくださいました。たくさんの思い出がありありがとうございます。心よりご冥福をお祈りいたします。(星谷)

★あざみグループ

『あざみのリーダー』

今年度に入り本格的に再稼働したパン工房梵天！坂本さんは週に4日間、梵天での活動に参加しています。パン作業ではたくさんの経験を

積みこむことで自信に繋がっているようです。

火曜と木曜は梵天での活動を終え、園に戻るとすぐに夕方のお掃除の時間です。坂本さんはすぐに着替えて、担当場所のトイレ掃除に取り掛かります。疲れていても手を抜かないのが坂本さん。トイレはいつもピカピカです。休日の布団干しでは仲間の分も手伝ってくれ、毎日の洗濯干しも率先して行ってくれています。乾いた衣類を片付ける時も、皆の中心になってテキパキと動いています。頼れるリーダーとして活躍しています。坂本さんも、グループの仲間から頼りにされると嬉しそうに笑っています。これからもリーダーとして優しく皆を引っ張っていかせてください。(畠山)

★なでしこグループ

『今年度のなでしこさん』

今年度のなでしこグループは、最近将棋の駒並べがマイブームになっている山中さん、紙テープを器用に丸めるのが大好きな小野口さん、歌とダンスが大好きな野口さん、面倒見の良い大足さん、靴下を干すことがとても上手になった小沼さん、観察力の鋭い久保田さん、洗濯物たたみが丁寧でとても上手な中川さん、良く気が付いてグループの中心となっている柴田さんの8名で生活してきました。年齢層は幅広く、親子程の差がありますが、お互いに支え合って協力し合えるグループでした。来年度も笑顔絶やさず、元気に過ごしていきたいと思います。(北村)

新年会



新年に乾杯!!



今年も笑顔が
いっぱい的一年に
なりますように



利用者年齢調査

平均年齢 (通所含む)

男性 (31名)	48.03歳 [0.03↑]
女性 (26名)	54.65歳 [0.94↑]
合計 (57名)	51.34歳 [0.48↑]

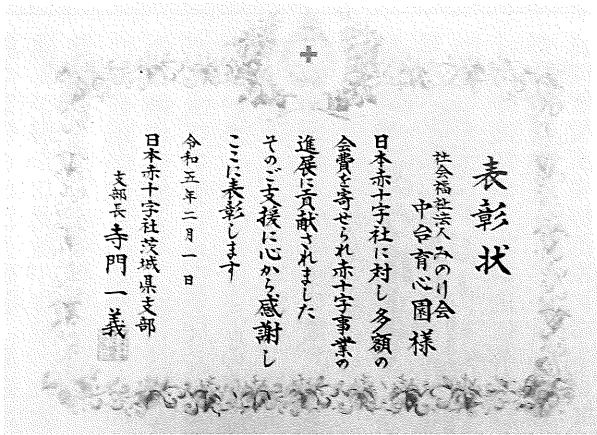
※ [] 内、前年度比
年齢分布

年代	男性	女性	全体
80代	1名	2名	5.3%
70代	1名	2名	5.3%
60代	6名	5名	19.3%
50代	5名	7名	21.0%
40代	8名	7名	26.3%
30代	7名	2名	15.8%
20代	3名	0名	5.3%
10代	0名	1名	1.7%

(令和5年3月31日現在)

「表彰されました」

2月1日、当施設が日本赤十字社に対して長年に亘り多額の寄付をし、赤十字事業の進展に貢献したとして、日本赤十字社茨城支部長様より表彰状をいただきました。



跡 跡 跡

〔1月・2月〕

【寄付】

▼池田洋様 ▼橋爪八重子様

▼小野口里子様 ▼沼田精一様

▼柳堀實様 ▼中畑由香利様

▼竹添百合子様 ▼吉崎勇三様

【来園者】

▼横田裕樹様 (会計監査) ▼永光

パートナーズ 渡邊様 (会計指導)

▼横松建築設計事務所 横松様 (打

合わせ) ▼高坂防災 加藤様、桜井

様、佐々木様、三船様、田原様 (消

防設備点検) ▼鹿嶋市役所 大川

様、大久保様 (共同募金表彰) ▼鹿

島の里 相談支援事業所 堀部様 (実

習指導) ▼鹿島特別支援学校 蛭田

様 (実習巡回) ▼鹿島特別支援学校

松平様、広瀬様、鹿島更生園 中山様、

鹿嶋市役所 勝田様、ワンハート勝

山様、梶田浩史様、梶田公子様 (支

援会議) ▼辻由利子様 (退所手続)

▼山本いづ子様 (相談) ▼石津千恵

子様 (相談) ▼平間昭彦様、由紀子

様 (面会) ▼横山とし子様 (面会)

【おくやみ】

▼辻みどりさん (享年81歳)

【日中一時】

▼本谷竜久さん

【施設実習】

▼梶田浩史さん
(1月23日～1月27日)



【1月・2月誕生者】

▼上遠野郁代さん (1月5日)

▼倉嶋素明さん (1月11日)

▼村田まさ子さん (1月15日)

▼池田勝弘さん (1月20日)

▼福栄都さん (1月21日)

▼永長未帆さん (1月29日)

編集後記

先日、久しぶりに成分献血をしました。実は私の血管はちょっと歪んで走っているためにつけ難いらしく、しばしば看護師さんを困らせてしまいます。献血に行ったら日は雨が降っていて寒い日だったので、更に難易度が上がっていたようでした。実際に献血が始まるまで、総勢6人の看護師さんが交代して私の血管発見に尽力されたのです。無事に採血が始まると、その6人の看護師さんたちが周囲に集まって拍手をしてくれました。私は本当に申し訳ない気持ちでいっぱい、いたたまれずにただただ謝るばかり。本当にお手数をおかけしました。

成分献血は全血献血と違って2週間後には献血できるようなのですが、懲りずにまた近々伺います。よろしくお願いします。

〈チヨダ〉

